

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	論理国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	論理国語（数研出版）	副教材	論理国語準拠ワーク（数研出版） 思考の論理スイッチ必修編1（浜島書店） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。

言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。

現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考查	レポート	内容	考查	レポート
具体と抽象 「『内的成長』社会へ」「資本主義社会の本当の『豊かさ』」「『具体』から『抽象』へ」	中間	①	情報と社会 「擬似群衆の時代」「消費されるスポーツ」「白紙」	中間	④
言葉と創造 「添削の思想」 「国境を超える言葉」	中間 期末	②	言葉と思考 「日本語は非論理的か」「偶然とは何か」「野生の『クジラ』と人間の「鯨」」	中間 期末	⑤
近代と現代の視点 「未来世代への責任」「〈近代〉の入り口と出口の間」「科学・技術の歴史の中での社会」	期末	③	文章の背景 「『安楽』への全体主義」 「手の変幻」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考查（4回）

評価の観点

a. 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	文学国語（2年生）
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	「新編 文学国語」（大修館書店）	副教材	「新編 文学国語 学習ノート」（大修館書店）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
1 明日をひらく 「そとみとなかみ」 〔書く〕その①	中間	①	4 名作を読む 「山月記」	中間	④
2 小説を楽しむ（一） 「ナイン」	中間	②	古典の世界2 「かぐや姫の昇天」	中間	⑤
古典の世界1 「星取り」	期末	③	5 社会に生きる 「鞆」	期末	⑥
3 詩を味わう 「道程／小景異情／永訣の朝／コスモス」	期末	③	6 表現を味わう「柿」 〔書く〕その② 古典の世界3 「行く河の流れ」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に参加し、授業内の様々な活動を通して理解を深める。副教材を活用して問題演習を行いより深く理解する。随想・評論、小説、詩歌といった文章それぞれの特徴と、書かれた時代を意識しながら読み進めていく。	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の行動観察 ・ノート等授業記録 ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、小テスト ・授業の振り返り ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合
単位数	デザイン：2単位/キャリア：3単位	レポート	デザイン：6回/キャリア：9回
教科書	新選 歴史総合(東京書籍)、基本地図帳(二宮書店)	副教材	デザイン：新選 歴史総合ワークノート(東京書籍)/キャリア：なし

学習目標

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～3月）
<p>○教科書は、P 7～99までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>1章 歴史の扉(【レポート】キャ:①)</p> <p>2章 近代化と私たち</p> <p>1.近代化への問い、2.結び付く世界と日本の開国(【レポート】デ:① キャ:②)</p> <p>3.国民国家と明治維新、4.近代化と現代的な諸課題(【レポート】デ:③ キャ:③④)</p> <p>3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1.国際秩序の変化や大衆化への問い、2.第一次世界大戦と大衆社会(【レポート】キャ:⑤)</p>	<p>○教科書はP 100～197までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>2.第一次世界大戦と大衆社会(【レポート】キャ:⑥)</p> <p>3.経済危機と第二次世界大戦、4.国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(【レポート】デ:④ キャ:⑦)</p> <p>4章 グローバル化と私たち</p> <p>1.グローバル化への問い、2.冷戦と世界経済(【レポート】デ:⑤ キャ:⑧)</p> <p>3.世界秩序の変容と日本、4.現代的な諸課題の形成と展望(【レポート】デ:⑥ キャ:⑨)</p>

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 授業で終わった範囲の復習をする</p> <p>【考查勉強】 授業プリント・副教材・絶対に出るプリントから出題</p>	<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する。</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 資料の読み取り・活用</p>

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考査/50）

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

b. 思考・判断・表現（レポート/30）

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、デザイン・アートコースは副教材も含む/20）

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	公民	科目	公共
単位数	デザイン：2単位/キャリア：3単位	レポート	デザイン：6回/キャリア：9回
教科書	公共(実教出版)、基本地図帳(二宮書店)	副教材	デザイン：公共演習ノート(実教出版) / キャリア：なし

学習目標

- 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

前期(4～9月)	後期(10～3月)
<p>○教科書は、P6～99までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>1部 公共の扉</p> <p>1.社会を作る私たち、2.人間としてよく生きる、3.他者と共に生きる、4.民主社会の倫理(【レポート】デ:①キャ:①)</p> <p>5.民主国家における基本原理(【レポート】デ:② キャ:②)</p> <p>2部 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>《政治》</p> <p>1.日本国憲法の基本的性格、2.日本の政治機構と政治参加(【レポート】デ:③ キャ:③④)</p>	<p>○教科書はP100～209までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>2部 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>《経済》</p> <p>1.現代の経済社会(【レポート】デ:④キャ:⑤)</p> <p>2.日本経済の特質と国民生活【レポート】デ:⑤ キャ:⑥)</p> <p>《国際社会》</p> <p>1.国際政治の動向と課題(【レポート】デ:⑥ キャ:⑦)</p> <p>2.国際経済の動向と課題(【レポート】キャ:⑧)</p> <p>3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち(【レポート】キャ:⑨)</p>

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 授業で終わった範囲の復習をする</p> <p>【考查勉強】 授業プリント・副教材・絶対に出るプリントから出題</p>	<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する。</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 身の回りの事象を価値観や概念でとらえる</p>

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考査/50）

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

b. 思考・判断・表現（レポート/30）

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。

c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、デザイン・アートコースは副教材も含む/20）

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	論理国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	論理国語（数研出版）	副教材	論理国語準拠ワーク（数研出版） 思考の論理スイッチ必修編1（浜島書店） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。

言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。

現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考查	レポート	内容	考查	レポート
具体と抽象 「『内的成長』社会へ」「資本主義社会の本当の『豊かさ』」「『具体』から『抽象』へ」	中間	①	情報と社会 「擬似群衆の時代」「消費されるスポーツ」「白紙」	中間	④
言葉と創造 「添削の思想」 「国境を超える言葉」	中間 期末	②	言葉と思考 「日本語は非論理的か」「偶然とは何か」「野生の『クジラ』と人間の「鯨」」	中間 期末	⑤
近代と現代の視点 「未来世代への責任」「〈近代〉の入り口と出口の間」「科学・技術の歴史の中での社会」	期末	③	文章の背景 「『安楽』への全体主義」 「手の変幻」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考查（4回）

評価の観点

a. 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	文学国語（2年生）
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	「新編 文学国語」（大修館書店）	副教材	「新編 文学国語 学習ノート」（大修館書店）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
1 明日をひらく 「そとみとなかみ」 〔書く〕その①	中間	①	4 名作を読む 「山月記」	中間	④
2 小説を楽しむ（一） 「ナイン」	中間	②	古典の世界2 「かぐや姫の昇天」	中間	⑤
古典の世界1 「星取り」	期末	③	5 社会に生きる 「鞆」	期末	⑥
3 詩を味わう 「道程／小景異情／永訣の朝／コスモス」	期末	③	6 表現を味わう「柿」 〔書く〕その② 古典の世界3 「行く河の流れ」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に参加し、授業内の様々な活動を通して理解を深める。副教材を活用して問題演習を行いより深く理解する。随想・評論、小説、詩歌といった文章それぞれの特徴と、書かれた時代を意識しながら読み進めていく。	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の行動観察 ・ノート等授業記録 ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、小テスト ・授業の振り返り ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合
単位数	デザイン：2単位/キャリア：3単位	レポート	デザイン：6回/キャリア：9回
教科書	新選 歴史総合(東京書籍)、基本地図帳(二宮書店)	副教材	デザイン：新選 歴史総合ワークノート(東京書籍)/キャリア：なし

学習目標

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～3月）
<p>○教科書は、P7～99までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>1章 歴史の扉(【レポート】キャ:①)</p> <p>2章 近代化と私たち</p> <p>1.近代化への問い、2.結び付く世界と日本の開国(【レポート】デ:① キャ:②)</p> <p>3.国民国家と明治維新、4.近代化と現代的な諸課題(【レポート】デ:③ キャ:③④)</p> <p>3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1.国際秩序の変化や大衆化への問い、2.第一次世界大戦と大衆社会(【レポート】キャ:⑤)</p>	<p>○教科書はP100～197までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>2.第一次世界大戦と大衆社会(【レポート】キャ:⑥)</p> <p>3.経済危機と第二次世界大戦、4.国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(【レポート】デ:④ キャ:⑦)</p> <p>4章 グローバル化と私たち</p> <p>1.グローバル化への問い、2.冷戦と世界経済(【レポート】デ:⑤ キャ:⑧)</p> <p>3.世界秩序の変容と日本、4.現代的な諸課題の形成と展望(【レポート】デ:⑥ キャ:⑨)</p>

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 授業で終わった範囲の復習をする</p> <p>【考查勉強】 授業プリント・副教材・絶対に出るプリントから出題</p>	<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する。</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 資料の読み取り・活用</p>

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考査/50）

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

b. 思考・判断・表現（レポート/30）

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、デザイン・アートコースは副教材も含む/20）

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	公民	科目	公共
単位数	デザイン：2単位/キャリア：3単位	レポート	デザイン：6回/キャリア：9回
教科書	公共(実教出版)、基本地図帳(二宮書店)	副教材	デザイン：公共演習ノート(実教出版)/ キャリア：なし

学習目標

- 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

前期(4~9月)	後期(10~3月)
<p>○教科書は、P6~99までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>1部 公共の扉</p> <p>1.社会を作る私たち、2.人間としてよく生きる、3.他者と共に生きる、4.民主社会の倫理(【レポート】デ:①キャ:①)</p> <p>5.民主国家における基本原理(【レポート】デ:② キャ:②)</p> <p>2部 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>《政治》</p> <p>1.日本国憲法の基本的性格、2.日本の政治機構と政治参加(【レポート】デ:③ キャ:③④)</p>	<p>○教科書はP100~209までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>2部 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>《経済》</p> <p>1.現代の経済社会(【レポート】デ:④キャ:⑤)</p> <p>2.日本経済の特質と国民生活【レポート】デ:⑤ キャ:⑥)</p> <p>《国際社会》</p> <p>1.国際政治の動向と課題(【レポート】デ:⑥ キャ:⑦)</p> <p>2.国際経済の動向と課題(【レポート】キャ:⑧)</p> <p>3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち(【レポート】キャ:⑨)</p>

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 授業で終わった範囲の復習をする</p> <p>【考查勉強】 授業プリント・副教材・絶対に出るプリントから出題</p>	<p>【授業】 授業プリントに沿って学習する。</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する。</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 身の回りの事象を価値観や概念でとらえる</p>

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考査/50）

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

b. 思考・判断・表現（レポート/30）

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。

c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、デザイン・アートコースは副教材も含む/20）

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	理科	科目	地学基礎
単位数	(デザイン)2単位、(キャリア)3単位	レポート	9回
教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。

・現在の地球の活動について観察などを通して探究し、地球の構造や、プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。

・地球の現在に至るまでの過程について観察などを通して探究し、太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
地球のすがた①②	中 間	①	地球の環境②	-	⑥
地球の活動①	中 間	②	宇宙と地球①②	中 間	⑦
地球の活動②	期 末	③	生物の変遷と地球環境①	期 末	⑧
大気と海洋①	期 末	④	生物の変遷と地球環境②	期 末	⑨
大気と海洋②	-	⑤			
地球の環境①	期 末				

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回)	・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回)

評価の観点

a. 知識・技能 観察などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
b. 思考・判断・表現 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。
c. 主体的に取り組む態度 地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育(2年次)
単位数	デ：2単位 キヤ：2単位	レポート	2回
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
運動・スポーツの学び方		①	運動・スポーツの学び方		②
バレーボール・体づくり運動		①	バスケットボール		②
ダンス		①	バドミントン		②
陸上競技		①	卓球		②
新体力テスト			体づくり運動		②

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度(出席率等も含む) 実技テスト レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度(出席率等も含む) 実技テスト レポート評価

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。</p>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	美術2
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術2」	副教材	

<p>学習目標</p> <p>絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現など芸術の幅広い活動を通して各科目の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる能力を育成するため、創意工夫しながら的確に表現するための造形的な思考力、判断力、表現力を身につける。</p>

<p>学習内容</p> <p>絵画・彫刻、デザイン、映像メディアなどの幅広い活動を通して、各芸術分野の表現特性を学習するための作品制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。</p>

教科書該当項目	レポート番号
花を描く、祈りの場を彩る、心の中の風景、抽象への誘い 【絵画・彫刻】	レポート①
人の形を追求する、素材と向き合う 【絵画・彫刻】	レポート②
トータルデザインを考える、問題解決のためのデザイン、住まいをデザインする 【デザイン】	レポート③
写真撮影の基本、写真を編集する 【映像メディア表現】	レポート④
アニメーションの歴史 【映像メディア表現】	レポート⑤
版画表現の可能性 【絵画・彫刻】	レポート⑥

<p>学習方法（デザインアートコース・キャリアコース4日型 共通）</p> <p>課題資料を良く読み、要点を確認して課題制作を行う事。担当教諭の指導を受けながら疑問点は質問し、作業を進めること。また制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。</p>

<p>評価方法（デザインアートコース・キャリアコース4日型 共通）</p> <p>課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から主体的に計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。</p>
--

<p>評価の観点</p> <p>a. 知識・技能</p> <p>各分野における表現方法の基本的な造形要素の働きを制作、鑑賞を通して、理解を深めている。また、それらの機能や効果を活かして、創造的な表現を行なっている。</p> <p>b. 思考・判断・表現</p> <p>各分野の表現特性を踏まえて、自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構成を決定して、創意工夫しながら計画的に表現する。</p> <p>c. 主体的に取り組む態度</p> <p>発想や構想したことを基に造形要素の働きを意識しながら、創意工夫して表現している。美術、造形の表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。</p>
--

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材	同教科書ワークブックSTANDARD (三省堂) Active Listening 3 (第一学習社) チャンクで英単語Standard (三省堂)

学習目標

外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、一定の支援を活用して、幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりすることができ

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 Dances Around the World SVOO(O=that/what.if/whether節)	前期中間	1	Lesson6 Murals- Public Art 助動詞、助動詞の過去形、完了不定詞	後期中間	7
Lesson2 Katsura Sunshine 形式主語・形式目的語のit		2	Lesson7 "Englishes" in the World 分詞構文、付帯状況with		8
Lesson3 Living with Nature 現在完了形、過去完了形		3	Lesson8 Deepika Kurup 仮定法過去・過去完了、様々な仮定法		9
Lesson4 Sesame Storeet SVOC(V=知覚動詞、使役動詞)	前期期末	4	Lesson9 The World's Poorest President 同格のthat、強調構文、倒置、省略	後期期末	10
Lesson5 From Landmines to Herb 関係代名詞、関係副詞、非制限用法		5	Lesson10 Living in an E-Society ディベート		11
Reading① The Little Prince		6	Reading② Syria's Secret Library		12

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける

・予習…辞書なしで読み大まかに内容を把握する。まとまった英文を読みことに慣れる。新出単語の意味を確認する。

・授業…本文内容を深く読む。理解を深めるための音読練習。内容に関する意見交換。文法事項を深めるための表現活動。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

音声、語彙・表現の意味、文法など言語の働きについて理解を深め、これらの知識を適切に活用して書いたり話したりすることができる。

b. 思考・判断・表現

話し手や書き手の意図を的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言語やその背景にある文化に対する理解を深め、学んだことを活用して、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	MY WAY Logic and Expression II (三省堂)	副教材	同教科書サブノート (三省堂)

学習目標

日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、多様な語句や文を使って、情報や考えを論理の展開を工夫しながら伝えることができる。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 I Love My Country! (これまでの経験、好きな場所の紹介)	前期中間	1	Lesson6 Experience Wildlife (世界や日本で有名な場所の紹介)	後期中間	4
Lesson2 The New Wave of Sports (週末の予定、最新のものの紹介)			Lesson7 Live on Mars (火星での生活について)		
Lesson3 The Future of Technology (印象深かった授業、贈り物について)		2	Lesson8 Language and Society (世界の言葉、旅行)		5
Lesson4 Rediscover Kabuki (日本文化の紹介)	前期期末	3	Lesson9 Send Our Love to the World (悩み事を伝える、社会問題)	後期期末	6
Lesson5 Our Lives with AI (科学技術、社会状況)			Lesson10 Follow in Our Hero's Footsteps (関心ある人物の紹介)		

学習方法

デザイン・アートコース
○予習→授業→復習の学習習慣を身につける。 ・予習…新出単語の意味を確認する。 ・授業…各課のテーマに基づいて、コミュニケーションに必要な語彙・表現を身につける。 ペア・グループでの会話(やり取り)、スピーチ・プレゼンテーション(発表)、エッセイなど(書く)を行う。

評価方法

デザイン・アートコース
授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能 日常的な話題や社会的な話題における情報や考えを、話すまたは書くために必要な語彙や表現を理解し、書いたり話したりして伝えることができる。
b. 思考・判断・表現 情報や考えなどにおける要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して自分の意見を伝えたり書いたりしている。
c. 主体的に取り組む態度 日常的な話題についての意見や考えを、聞いたり読んだりして習得したことを活用して、相手が理解できるように伝えようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	デッサンⅡ	科目	
単位数	3	レポート	3回
教科書	美術1	副教材	デッサンの基本

学習目標

<p>(1) 材料の特性を理解し対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。 (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを育成する。 (3) 造形表現を追求する中で主体的に学習する態度を養う。</p>

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内 容	考 査	レポート	内 容	考 査	レポート
パース		①	組み静物デッサン		
静物デッサン			組み石膏デッサン		
細密デッサン			構成デッサン		
石膏デッサン 前期まとめ		②	まとめ		③

学習方法

デザイン・アートコース 授業に出席し、課題を通して理解を深める。 講評などを通して客観的に学びを深める。 教科書、資料を活用する。	キャリアコース週4日登校型
--	---------------

評価方法

デザイン・アートコース 以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	キャリアコース週4日登校型
--	---------------

評価の観点

a. 知識・技能 ・素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。 ・対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。
b. 思考・判断・表現 ・深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。 ・造形的な見方・考え方を働かせている。
c. 主体的に取り組む態度 ・主体的にデッサンや技法の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	立体構成
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術2」	副教材	

学習目標

創造活動の基礎となる造形的な見方・考え方を働かせながら、表現素材の特性や立体構造について、理解を深め、対象を観察して創意工夫しながら的確に表現するための思考力、判断力、表現力を身につける。

学習内容

素材の性質や制作過程を学習しながら、構想を練り、紙や粘土など様々な素材を使用した立体構成作品を制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。(【 】内は教科書の該当ページ)

- 1、立体構成について。
- 2、素材の性質と立体構成【素材と向き合う】
- 3、複合素材による立体構成【素材と向き合う】
- 4、粘土の性質と立体構成【学習を支える資料一覧>>塑像であらわす】
- 5、モチーフの模刻と構成(自然物、無機物、人体等)【学習を支える資料一覧>>塑像であらわす】

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題の意図に沿った制作を行うこと。アイディアスケッチや試作など、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導も受けながら作業を進めること。計画的に制作を行い、締切は厳守すること。また完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。疑問点は積極的に質問し、制作に必要な資料収集等を積極的に行うこと。

評価方法

課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

立体表現における表現方法の基本的な効果、特性などを理解する。制作、鑑賞を通して、立体表現への理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構造を創意工夫して、作品構成を決定し、計画的に表現する。

c. 主体的に取り組む態度

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現している。立体表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅰ(アート)
単位数	3	レポート	6
教科書	美術2(光村図書)	副教材	

学習目標

- (1) アートに関する各領域表現の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- (2) 創造的に表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、各々の持つ感性を高め、豊かな情操を培う。

学習内容

- ・主に平面領域の専門性について基礎から学習する。
- ・水彩画や油絵、日本画などの制作を通して、基礎的な技法を学ぶ。
- ・表現の意図を大切に絵作り、作品作りを学ぶ。

学習方法

- ・教科書や資料などを活用する。
- ・授業に参加し、制作活動を通して内容の理解を深める。
- ・作品は期限を守って完成させ、レポートと併せて提出する。

評価方法

- ・出席
 - ・授業態度
 - ・作品
 - ・レポート等の提出物(期限厳守)
- 等で総合的に判断し評価する。

評価の観点

a. 知識・技能

- ・対象の持つ造形的なよさや美しさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。
- ・学んだ技法や技術を表現に活かしている。
- ・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。

b. 思考・判断・表現

- ・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。
- ・表現する際に、適した道具や表現技法を選ぶことができる。

c. 主体的に取り組む態度

- ・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。
- ・妥協せず、粘り強く制作に取り組んでいる。

令和6年 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅰ（デザイン）
単位数	3	レポート	5回
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

--

学習内容

前期(4～9月)			後期(10～3月)		
内容	考查	レポート	内容	考查	レポート
デザインとは何か	—	①	レタリングの基本(5課題)	—	④
四季を色で表す	—	②	鑑賞	—	⑤
パターン構成(包装紙デザイン)	—	③	POP制作	—	⑥

学習方法

課題文を良く読み、課題にそった制作を行うこと。積極的にメモをとること。
 デザインは相手がいる物。ラフや案出しなど制作は順を追って行き、必ず担当教諭のチェックや指導を受け作業を進めましょう。自分の考えや企画・制作を文章で説明できるようまとめましょう。
 また、締切は厳守。制作も決められた時間で完成する様に計画的に行い、完成作品を振り返り、自身の成長に繋がるよう努めましょう。
 家庭では、資料収集等を行ってください。

評価方法

計画と制作の意図が明確か。
 楽しみながらも美しさや完成度に意識を持ち、用具や画材を的確に使用し、こだわりを持って制作しているか。
 制作前の説明や学習内容を理解し、作品及びレポートに反映できているか。
 締切を意識し時間内に提出できたか。

評価の観点

a.知識・技能
レポート及び作品に学習した内容を取り入れている。
b. 思考・判断・表現
作品を味わい、自らの見方を深めている。また、他者の作品や意見を理解しようとしている。
c.主体的に取り組む態度
出席率・授業の取り組み方・作品及びレポート提出の締切を守っていること。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	映像（2年生）
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1、2」	副教材	

学習目標

映像制作の過程を演習しながら作品構成の手法を身に付ける。映像表現の特性について理解を深め、伝えたい情報を整理して相手に伝える手法を学ぶ。自分の視点やアイデアを基に企画や演出など映像表現の構想を練ることができるようになる。

学習内容

映像の原理や制作過程を学習し、企画、制作計画にも留意して、編集ソフト等を使用した映像作品を制作と作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

（【 】内は教科書の該当ページ）

- 1、映像とは何か。映像の原理と基本構成
- 2、写真表現について【写真撮影の基本、写真を編集する（美術1）】
- 3、アニメーション作品の制作【アニメーションの歴史（美術2）】
- 4、実写映像作品の制作 【映像を撮影する（美術1）】
- 5、映像作品の鑑賞

学習方法

自分が何を伝えたいのかを常に意識して、作品と向き合い、客観性を持ちながら制作に取り組むこと。制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、自分の表現を追求するだけでなく、他者の作品の良さも受け入れながら学習を行うこと。

評価方法

計画や制作の意図が明確か。集中して授業に取り組んでいるか。映像制作を楽しみながら、見やすさや完成度を意識して制作を行っているか。

ワークシート、完成作品、プレゼンテーション、レポートを参考に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

映像表現の特性などを理解して、企画・撮影・編集を行っている。また作品を通して、表現したいことが明確である。

b. 思考・判断・表現

映像表現の特性を留意しながら自分の視点やアイデアを基に構想を練り、表現方法や計画を決定して制作を進めている。また映像表現の特性を活かした撮影、編集等の映像表現を行なっている。

c. 主体的に取り組む態度

映像表現に興味関心を持ちながら制作を行っている。課題の意図を理解して、目的を達成のために表現に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術史	科目	
単位数	2	レポート	6回
教科書	美術2	副教材	

学習目標

<p>(1) 文化遺産や美術文化について理解が深めることができるようにする。 (2) 新たな美術文化を想像していく基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 伝統と文化を尊重する態度を養う。</p>

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
西洋美術史Ⅰ		①	日本美術史Ⅰ		④
西洋美術史Ⅱ		②	日本美術史Ⅱ		⑤
西洋美術史Ⅲ		③	日本美術史Ⅲ		⑥

学習方法

<p>デザイン・アートコース 授業に出席し、作品鑑賞を通して理解を深める。 発表や他者の意見を聞き、視野を広げる。 作品制作をすることがある。 教科書、資料を活用する。</p>	キャリアコース週4日登校型
--	---------------

評価方法

<p>デザイン・アートコース 以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）</p>	キャリアコース週4日登校型
--	---------------

評価の観点

<p>a. 知識・技能 ・美術の変遷など調べ基礎的な歴史や美術文化を習得している。 ・考えやイメージについて言葉や文章で説明できる。 ・美術の基礎的な知識を理解している。</p>
<p>b. 思考・判断・表現 ・各時代における美術の特質や歴史的背景などの表現形式の違いなど捉えられている。 ・美術の歴史について考察を深められている。 ・学んだ知識などを表現に生かしている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度 ・美術文化やその在り方、美術文化の継承、発展、創造に主体的に考察している。 ・他者の意見や考えから学ぼうとする態度がみられる。 伝統と文化を尊重する態度が養われている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	鑑賞（2年生）
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

- 1、様々な美術館や施設を見学し、美術作品の鑑賞の仕方や社会的ルールやマナーを身につける。
- 2、鑑賞を通して美術やデザインの社会にもたらす影響や貢献などを学び、各自の進路決定に生かす。
- 3、多種多様な鑑賞を行い、一人ひとりの視野や思考を広げ、それぞれの作品や進路決定に生かす。

学習内容

朝学習等の時間を活用し、事前学習や映像鑑賞を行い、美術館やイベント等の屋外展示など、様々な視点での作品鑑賞を行う。鑑賞後、課題に応じたレポート制作を行う。内容として下記の予定で行う（※、実施の時期や内容などを変更する場合があります。【】内は教科書の該当ページ）

- 1、美術鑑賞について（ギャラリーみつけ）【美術館賞を楽しむ手がかり】
- 2、美術館での鑑賞（新潟近代美術館）【美術館を楽しむ】
- 3、地域と美術の関わり（校外展）
- 4、表現の探究（モデルデッサン等）【鉛筆で描く】
- 5、美術大学の制作活動から進路について考える（長岡造形大学）

学習方法

鑑賞する作品や作者等について、必要な事前学習を行い基本知識を身につける。見学先では学芸員や担当者の方から、お話を伺う。鑑賞後、学習内容をまとめたレポートを作成する。

評価方法

鑑賞する作品や作者等について、事前学習で必要な知識を身につけているか。授業や課題に主体的に取り組んでいるか。鑑賞を通して学習した事を活かして、課題レポートを作成しているか。各課題は期限内に計画的に取り組んでいるか。

評価の観点

a. 知識・技能

社会的なルールやマナーを守り、鑑賞を行なっているかどうか。事前学習や鑑賞を通して学習した作品や作者、表現についての知識や造形的な知識や見方を身につけているか。

b. 思考・判断・表現

事前学習や鑑賞を通して作品や作者、表現等について、造形的な視点から自分なりの見解を持ち、学習が進められているか。学習した内容から必要な情報を判断し、学習成果をレポートとして表現できているかどうか。

c. 主体的に取り組む態度

鑑賞する作品や作者、美術表現に興味関心を持ち、主体的に事前学習や鑑賞、レポート作成に取り組んでいるかどうか。

令和7年度 教科シラバス

教科	理科	科目	地学基礎
単位数	(デザイン)2単位、(キャリア)3単位	レポート	9回
教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。

・現在の地球の活動について観察などを通して探究し、地球の構造や、プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。

・地球の現在に至るまでの過程について観察などを通して探究し、太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
地球のすがた①②	中 間	①	地球の環境②	-	⑥
地球の活動①	中 間	②	宇宙と地球①②	中 間	⑦
地球の活動②	期 末	③	生物の変遷と地球環境①	期 末	⑧
大気と海洋①	期 末	④	生物の変遷と地球環境②	期 末	⑨
大気と海洋②	-	⑤			
地球の環境①	期 末				

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回)	・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回)

評価の観点

a. 知識・技能 観察などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
b. 思考・判断・表現 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。
c. 主体的に取り組む態度 地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育(2年次)
単位数	デ：2単位 キヤ：2単位	レポート	2回
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
運動・スポーツの学び方		①	運動・スポーツの学び方		②
バレーボール・体づくり運動		①	バスケットボール		②
ダンス		①	バドミントン		②
陸上競技		①	卓球		②
新体力テスト			体づくり運動		②

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度(出席率等も含む) 実技テスト レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度(出席率等も含む) 実技テスト レポート評価

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。</p>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	美術2
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術2」	副教材	

学習目標

絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現など芸術の幅広い活動を通して各科目の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる能力を育成するため、創意工夫しながら的確に表現するための造形的な思考力、判断力、表現力を身につける。

学習内容

絵画・彫刻、デザイン、映像メディアなどの幅広い活動を通して、各芸術分野の表現特性を学習するための作品制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

教科書該当項目	レポート番号
花を描く、祈りの場を彩る、心の中の風景、抽象への誘い 【絵画・彫刻】	レポート①
人の形を追求する、素材と向き合う 【絵画・彫刻】	レポート②
トータルデザインを考える、問題解決のためのデザイン、住まいをデザインする 【デザイン】	レポート③
写真撮影の基本、写真を編集する 【映像メディア表現】	レポート④
アニメーションの歴史 【映像メディア表現】	レポート⑤
版画表現の可能性 【絵画・彫刻】	レポート⑥

学習方法（デザインアートコース・キャリアコース4日型 共通）

課題資料を良く読み、要点を確認して課題制作を行う事。担当教諭の指導を受けながら疑問点は質問し、作業を進めること。また制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。

評価方法（デザインアートコース・キャリアコース4日型 共通）

課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から主体的に計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

各分野における表現方法の基本的な造形要素の働きを制作、鑑賞を通して、理解を深めている。また、それらの機能や効果を活かして、創造的な表現を行なっている。

b. 思考・判断・表現

各分野の表現特性を踏まえて、自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構成を決定して、創意工夫しながら計画的に表現する。

c. 主体的に取り組む態度

発想や構想したことを基に造形要素の働きを意識しながら、創意工夫して表現している。美術、造形の表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材	同教科書ワークブックSTANDARD (三省堂) Active Listening 3 (第一学習社) チャンクで英単語Standard (三省堂)

学習目標

外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、一定の支援を活用して、幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりすることができ

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 Dances Around the World SVOO(O=that/what.if/whether節)	前期中間	1	Lesson6 Murals- Public Art 助動詞、助動詞の過去形、完了不定詞	後期中間	7
Lesson2 Katsura Sunshine 形式主語・形式目的語のit		2	Lesson7 "Englishes" in the World 分詞構文、付帯状況with		8
Lesson3 Living with Nature 現在完了形、過去完了形		3	Lesson8 Deepika Kurup 仮定法過去・過去完了、様々な仮定法		9
Lesson4 Sesame Storeet SVOC(V=知覚動詞、使役動詞)	前期期末	4	Lesson9 The World's Poorest President 同格のthat、強調構文、倒置、省略	後期期末	10
Lesson5 From Landmines to Herb 関係代名詞、関係副詞、非制限用法		5	Lesson10 Living in an E-Society ディベート		11
Reading① The Little Prince		6	Reading② Syria's Secret Library		12

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける

・予習…辞書なしで読み大まかに内容を把握する。まとまった英文を読みことに慣れる。新出単語の意味を確認する。

・授業…本文内容を深く読む。理解を深めるための音読練習。内容に関する意見交換。文法事項を深めるための表現活動。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

音声、語彙・表現の意味、文法など言語の働きについて理解を深め、これらの知識を適切に活用して書いたり話したりすることができる。

b. 思考・判断・表現

話し手や書き手の意図を的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言語やその背景にある文化に対する理解を深め、学んだことを活用して、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	MY WAY Logic and Expression II (三省堂)	副教材	同教科書サブノート (三省堂)

学習目標

日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、多様な語句や文を使って、情報や考えを論理の展開を工夫しながら伝えることができる。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 I Love My Country! (これまでの経験、好きな場所の紹介)	前期中間	1	Lesson6 Experience Wildlife (世界や日本で有名な場所の紹介)	後期中間	4
Lesson2 The New Wave of Sports (週末の予定、最新のものの紹介)			Lesson7 Live on Mars (火星での生活について)		
Lesson3 The Future of Technology (印象深かった授業、贈り物について)		2	Lesson8 Language and Society (世界の言葉、旅行)		5
Lesson4 Rediscover Kabuki (日本文化の紹介)	前期期末	3	Lesson9 Send Our Love to the World (悩み事を伝える、社会問題)	後期期末	6
Lesson5 Our Lives with AI (科学技術、社会状況)			Lesson10 Follow in Our Hero's Footsteps (関心ある人物の紹介)		

学習方法

デザイン・アートコース
○予習→授業→復習の学習習慣を身につける。 ・予習…新出単語の意味を確認する。 ・授業…各課のテーマに基づいて、コミュニケーションに必要な語彙・表現を身につける。 ペア・グループでの会話(やり取り)、スピーチ・プレゼンテーション(発表)、エッセイなど(書く)を行う。

評価方法

デザイン・アートコース
授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能 日常的な話題や社会的な話題における情報や考えを、話すまたは書くために必要な語彙や表現を理解し、書いたり話したりして伝えることができる。
b. 思考・判断・表現 情報や考えなどにおける要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して自分の意見を伝えたり書いたりしている。
c. 主体的に取り組む態度 日常的な話題についての意見や考えを、聞いたり読んだりして習得したことを活用して、相手が理解できるように伝えようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	デッサンⅡ	科目	
単位数	3	レポート	3回
教科書	美術1	副教材	デッサンの基本

学習目標

<p>(1) 材料の特性を理解し対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。 (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを育成する。 (3) 造形表現を追求する中で主体的に学習する態度を養う。</p>

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内 容	考 査	レポート	内 容	考 査	レポート
パース		①	組み静物デッサン		
静物デッサン			組み石膏デッサン		
細密デッサン			構成デッサン		
石膏デッサン 前期まとめ		②	まとめ		③

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>授業に出席し、課題を通して理解を深める。 講評などを通して客観的に学びを深める。 教科書、資料を活用する。</p>	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<p>以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）</p>	

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。 対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。
<p>b. 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。 造形的な見方・考え方を働かせている。
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的にデッサンや技法の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	立体構成
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術2」	副教材	

学習目標

創造活動の基礎となる造形的な見方・考え方を働かせながら、表現素材の特性や立体構造について、理解を深め、対象を観察して創意工夫しながら的確に表現するための思考力、判断力、表現力を身につける。

学習内容

素材の性質や制作過程を学習しながら、構想を練り、紙や粘土など様々な素材を使用した立体構成作品を制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。(【 】内は教科書の該当ページ)

- 1、立体構成について。
- 2、素材の性質と立体構成【素材と向き合う】
- 3、複合素材による立体構成【素材と向き合う】
- 4、粘土の性質と立体構成【学習を支える資料一覧>>塑像であらわす】
- 5、モチーフの模刻と構成(自然物、無機物、人体等)【学習を支える資料一覧>>塑像であらわす】

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題の意図に沿った制作を行うこと。アイディアスケッチや試作など、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導も受けながら作業を進めること。計画的に制作を行い、締切は厳守すること。また完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。疑問点は積極的に質問し、制作に必要な資料収集等を積極的に行うこと。

評価方法

課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

立体表現における表現方法の基本的な効果、特性などを理解する。制作、鑑賞を通して、立体表現への理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構造を創意工夫して、作品構成を決定し、計画的に表現する。

c. 主体的に取り組む態度

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現している。立体表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅰ(アート)
単位数	3	レポート	6
教科書	美術2(光村図書)	副教材	

学習目標

- (1) アートに関する各領域表現の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- (2) 創造的に表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、各々の持つ感性を高め、豊かな情操を培う。

学習内容

- ・主に平面領域の専門性について基礎から学習する。
- ・水彩画や油絵、日本画などの制作を通して、基礎的な技法を学ぶ。
- ・表現の意図を大切に絵作り、作品作りを学ぶ。

学習方法

- ・教科書や資料などを活用する。
- ・授業に参加し、制作活動を通して内容の理解を深める。
- ・作品は期限を守って完成させ、レポートと併せて提出する。

評価方法

- ・出席
 - ・授業態度
 - ・作品
 - ・レポート等の提出物(期限厳守)
- 等で総合的に判断し評価する。

評価の観点

a. 知識・技能

- ・対象の持つ造形的なよさや美しさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。
- ・学んだ技法や技術を表現に活かしている。
- ・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。

b. 思考・判断・表現

- ・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。
- ・表現する際に、適した道具や表現技法を選ぶことができる。

c. 主体的に取り組む態度

- ・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。
- ・妥協せず、粘り強く制作に取り組んでいる。

令和6年 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅰ（デザイン）
単位数	3	レポート	5回
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

--

学習内容

前期(4～9月)			後期(10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
デザインとは何か	—	①	レタリングの基本(5課題)	—	④
四季を色で表す	—	②	鑑賞	—	⑤
パターン構成(包装紙デザイン)	—	③	POP制作	—	⑥

学習方法

課題文を良く読み、課題にそった制作を行うこと。積極的にメモをとること。
 デザインは相手がいる物。ラフや案出しなど制作は順を追って行き、必ず担当教諭のチェックや指導を受け作業を進めましょう。自分の考えや企画・制作を文章で説明できるようまとめましょう。
 また、締切は厳守。制作も決められた時間で完成する様に計画的に行い、完成作品を振り返り、自身の成長に繋がるよう努めましょう。
 家庭では、資料収集等を行ってください。

評価方法

計画と制作の意図が明確か。
 楽しみながらも美しさや完成度に意識を持ち、用具や画材を的確に使用し、こだわりを持って制作しているか。
 制作前の説明や学習内容を理解し、作品及びレポートに反映できているか。
 締切を意識し時間内に提出できたか。

評価の観点

a.知識・技能
レポート及び作品に学習した内容を取り入れている。
b. 思考・判断・表現
作品を味わい、自らの見方を深めている。また、他者の作品や意見を理解しようとしている。
c.主体的に取り組む態度
出席率・授業の取り組み方・作品及びレポート提出の締切を守っていること。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	映像 (2年生)
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1、2」	副教材	

学習目標

映像制作の過程を演習しながら作品構成の手法を身に付ける。映像表現の特性について理解を深め、伝えたい情報を整理して相手に伝える手法を学ぶ。自分の視点やアイデアを基に企画や演出など映像表現の構想を練ることができるようになる。

学習内容

映像の原理や制作過程を学習し、企画、制作計画にも留意して、編集ソフト等を使用した映像作品を制作と作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

(【 】内は教科書の該当ページ)

- 1、映像とは何か。映像の原理と基本構成
- 2、写真表現について【写真撮影の基本、写真を編集する(美術1)】
- 3、アニメーション作品の制作【アニメーションの歴史(美術2)】
- 4、実写映像作品の制作 【映像を撮影する(美術1)】
- 5、映像作品の鑑賞

学習方法

自分が何を伝えたいのかを常に意識して、作品と向き合い、客観性を持ちながら制作に取り組むこと。制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、自分の表現を追求するだけでなく、他者の作品の良さも受け入れながら学習を行うこと。

評価方法

計画や制作の意図が明確か。集中して授業に取り組んでいるか。映像制作を楽しみながら、見やすさや完成度を意識して制作を行っているか。

ワークシート、完成作品、プレゼンテーション、レポートを参考に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

映像表現の特性などを理解して、企画・撮影・編集を行っている。また作品を通して、表現したいことが明確である。

b. 思考・判断・表現

映像表現の特性を留意しながら自分の視点やアイデアを基に構想を練り、表現方法や計画を決定して制作を進めている。また映像表現の特性を活かした撮影、編集等の映像表現を行なっている。

c. 主体的に取り組む態度

映像表現に興味関心を持ちながら制作を行っている。課題の意図を理解して、目的を達成のために表現に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術史	科目	
単位数	2	レポート	6回
教科書	美術2	副教材	

学習目標

(1) 文化遺産や美術文化について理解が深めることができるようにする。 (2) 新たな美術文化を想像していく基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 伝統と文化を尊重する態度を養う。
--

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
西洋美術史Ⅰ		①	日本美術史Ⅰ		④
西洋美術史Ⅱ		②	日本美術史Ⅱ		⑤
西洋美術史Ⅲ		③	日本美術史Ⅲ		⑥

学習方法

デザイン・アートコース 授業に出席し、作品鑑賞を通して理解を深める。 発表や他者の意見を聞き、視野を広げる。 作品制作をすることがある。 教科書、資料を活用する。	キャリアコース週4日登校型
---	---------------

評価方法

デザイン・アートコース 以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	キャリアコース週4日登校型
---	---------------

評価の観点

a. 知識・技能 ・美術の変遷など調べ基礎的な歴史や美術文化を習得している。 ・考えやイメージについて言葉や文章で説明できる。 ・美術の基礎的な知識を理解している。
b. 思考・判断・表現 ・各時代における美術の特質や歴史的背景などの表現形式の違いなど捉えられている。 ・美術の歴史について考察を深められている。 ・学んだ知識などを表現に生かしている。
c. 主体的に取り組む態度 ・美術文化やその在り方、美術文化の継承、発展、創造に主体的に考察している。 ・他者の意見や考えから学ぼうとする態度がみられる。 伝統と文化を尊重する態度が養われている。

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	鑑賞（2年生）
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

- 1、様々な美術館や施設を見学し、美術作品の鑑賞の仕方や社会的ルールやマナーを身につける。
- 2、鑑賞を通して美術やデザインの社会にもたらす影響や貢献などを学び、各自の進路決定に生かす。
- 3、多種多様な鑑賞を行い、一人ひとりの視野や思考を広げ、それぞれの作品や進路決定に生かす。

学習内容

朝学習等の時間を活用し、事前学習や映像鑑賞を行い、美術館やイベント等の屋外展示など、様々な視点での作品鑑賞を行う。鑑賞後、課題に応じたレポート制作を行う。内容として下記の予定で行う（※、実施の時期や内容などを変更する場合があります。【】内は教科書の該当ページ）

- 1、美術鑑賞について（ギャラリーみつけ）【美術館賞を楽しむ手がかり】
- 2、美術館での鑑賞（新潟近代美術館）【美術館を楽しむ】
- 3、地域と美術の関わり（校外展）
- 4、表現の探究（モデルデッサン等）【鉛筆で描く】
- 5、美術大学の制作活動から進路について考える（長岡造形大学）

学習方法

鑑賞する作品や作者等について、必要な事前学習を行い基本知識を身につける。見学先では学芸員や担当者の方から、お話を伺う。鑑賞後、学習内容をまとめたレポートを作成する。

評価方法

鑑賞する作品や作者等について、事前学習で必要な知識を身につけているか。授業や課題に主体的に取り組んでいるか。鑑賞を通して学習した事を活かして、課題レポートを作成しているか。各課題は期限内に計画的に取り組んでいるか。

評価の観点

a. 知識・技能

社会的なルールやマナーを守り、鑑賞を行なっているかどうか。事前学習や鑑賞を通して学習した作品や作者、表現についての知識や造形的な知識や見方を身につけているか。

b. 思考・判断・表現

事前学習や鑑賞を通して作品や作者、表現等について、造形的な視点から自分なりの見解を持ち、学習が進められているか。学習した内容から必要な情報を判断し、学習成果をレポートとして表現できているかどうか。

c. 主体的に取り組む態度

鑑賞する作品や作者、美術表現に興味関心を持ち、主体的に事前学習や鑑賞、レポート作成に取り組んでいるかどうか。